

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市港湾振興会館	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益社団法人 川崎港振興協会 代表者 齋藤 文夫 株式会社京急アドエンタープライズ 代表者 亀卦川 悟 ・住所 川崎市川崎区東扇島38-1	評価者	港湾管理課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	港湾局川崎港管理センター港湾管理課

2. 事業実績

利用実績	会館利用者 345,544人(前年度401,878人) 展望室利用者 76,863人(前年度82,824人) 会議室・研修室利用件数 1,564件(前年度1,738件) 体育室専用利用件数 484件(前年度585件) 体育室個人利用者 2,676人(前年度2,197人) テニスコート利用者 30,494人(前年度28,312人) テニスコート利用時間 14,816時間(前年度13,221時間) ビーチバレー場利用者 37,047人(前年度24,803人) ビーチバレー場利用時間 7,660時間(前年度5,342時間)
収支実績	収入額 216,014,516円(前年度215,284,285円) {内訳 指定管理事業収入 143,144,000円(前年度143,594,000円) 会館事業収入 72,870,516円(前年度71,690,285円)} 支出額 202,699,250円(前年度198,084,589円) {内訳 人件費 39,526,116円(前年度39,197,178円) 物件費 163,173,134円(前年度158,887,411円)}
サービス向上の取組	・スポーツ教室(ビーチバレー、バドミントン、テニス、トレーニング)やボートシップ教室を引き続き開催し、利用者の促進。 ・リフレッシュマップ(ウォーキング、ランニング、サイクリング等)を活用したリフレッシュの場の利用促進。 ・災害時避難施設としての対応能力強化のため太陽光発電設備を設置。 ・環境に配慮した企業の事業(東芝が行う水素の実証実験、JXTGエネルギーの水素補充事業)に対して協力を継続。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	10	4	8
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	10	3	6
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) ・スポーツ教室(ニュースポーツ)、ビーチバレーコートを利用したスポーツ教室、テニス教室、バドミントン教室、トレーニング室を利用したトレーニング教室が引き続き好評である。 ・平成26年度に日本夜景遺産に登録され、市民広報を行い観光利用客や夜景写真を撮りに来る利用者が多い。また、展望室の無料化を引き続き行い好評を得ている。 ・予定の表示やイベントの案内などを、より分かりやすくするために受付の案内版を改修し、利用者満足度の向上に努めた。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	10	3	6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	10	3	6
利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか					
(評価の理由) ・意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか) ・利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) ・委託業者との会議の場を設け意見等の共通認識を行い課題把握と改善策の実施を行った。 ・市との利用促進調整会議を行い、共有すべき情報について認識の疎通を行うとともに、改善すべき内容について協議を行った。 ・入居者連絡会議を開催し入居者との意見交換や情報交換を行うとともに、入居者側の意見把握にも努めた。					

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) ・LED照明への計画的な切替や入居者への節電の啓発により経費削減を行った。					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	3	3	1.8
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	3	5	3	
(評価の理由) ・全テナント参加の消防訓練を実施し、火災発生時などの速やかな避難、消火等への備えに取り組んだ。 ・指定管理者内による管理運営自己点検評価を行い、各委託業者との意見等の共通認識を行い利用者満足や成果に結びつける運営を行った。 ・市と協力し、太陽光発電設備を設置したことにより、災害時の避難施設としての対応力が強化した。 ・環境に配慮し計画的にLED照明の切り替えを行った。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	14	4	11.2
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	外構・植栽管理	外構を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由) ・耐用年数が過ぎている設備が多い中で、不具合の発生に迅速に対応するとともに、日々のメンテナンスに努めたため大きな事故等は無かった。				

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

平成28年度の指導事項となっていたビーチバレー場及びテニスコートの利用人数についてともに増加しているため、指摘に対して取組を行った成果と考えられる。
また、市と協力し太陽光発電設備の設置することで、災害時避難施設としての対応能力を強化した点も評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

会議室・研修室において、利用件数及び利用人数がともに減少しているため、平成29年度においては会議及び研修を目的として利用する場合に料金を半額とする以外に、周辺企業への誘致活動など積極的に行う必要がある。
また、体育室について個人利用の人数は大幅に増加しているが専用利用は件数・人数ともに減少しているため、平成29年度においてはその要因分析を行い専用利用を増加させるための施策を行う必要がある。